

CASIO®

P

ムーングラフ・フィッシングレベル

5120*JA

取扱説明書

保証書付

5120

このたびは、弊社製品をお買い上げくださりまして、誠にありがとうございます。
末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱い
いただきますようお願い申し上げます。

本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本書に
記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。

なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

■ 本機の特長

- アナログ&デジタル時計
- フィッシングレベル表示
- ムーングラフ機能
- 温度計測・メモリー（50本）
- ワールドタイム
- アラーム・時報
- ストップウォッチ
- タイマー
- EL バックライト

安全上のご注意

絵表示について 本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 危険 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

⚠ 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

⚠ 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています(左の例は感電注意)。



⊘記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています(左の例は分解禁止)。



●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)。

警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。

※本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手が届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

- ① 金属・皮革に対するアレルギー
 - ② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
 - ③ 体調不良等
- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
 - 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
 - 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。





注意

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行なってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

目次

安全上のご注意	表紙裏面	タイマーの使い方	20
各部の名称と表示の見方	5	タイマー方法について	20
モード切替え	6	タイマー時間のセット	20
操作音について	8	タイマーの使い方	22
ライト点灯について	8	アラーム・時報の使い方	23
ライトを点灯させる	8	アラーム時刻のセット	23
フィッシングレベル／ムーングラフの見方	9	アラーム・時報の ON/OFF 設定	24
フィッシングレベルの見方	9	ワールドタイムの使い方	25
ムーングラフの見方	9	都市のサーチ	25
フィッシング／ムーンモードに切り替える	10	サマータイムの ON/OFF 設定	26
フィッシングレベルを見る	10	都市コード一覧	26
月齢やムーングラフを見る	10	時計・カレンダーの合わせ方	27
日にちを指定してフィッシングレベル／ムーングラフを見る	11	デジタル部の合わせ方	27
使用場所のセット	12	アナログ（針）部の合わせ方	30
参考	14		
温度計測について	16		
温度メモリー機能について	17		
温度調整のしかた	18		
ストップウォッチの使い方	19		
計測のしかた	19		
		製品仕様	31
		ご使用上のご注意	34
		お手入れについて	37
		電池交換について	38
		金属バンドの駒詰めについて	38

各部の名称と表示の見方



※ 本書の表示例では、アナログ部（針）を省略する場合があります。

● 温度計測について

本機には温度センサーが内蔵されており、常時2分おきに時計内部の温度を計測し、表示します。また、計測した温度と時刻を30分ごとに最大50本まで記憶する温度メモリー機能もついています。

※ 詳しくは17ページをご覧ください。

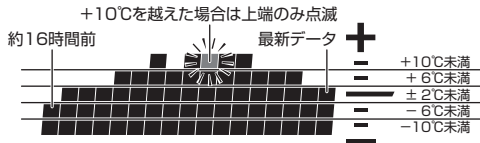
● 温度傾向グラフ表示切替え

時刻モードで(A) ボタンを押すごとに、温度表示と温度傾向グラフ表示が切り替わります。



● 温度傾向グラフの見方

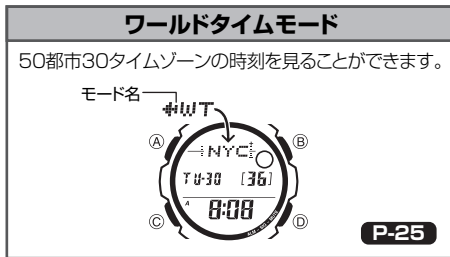
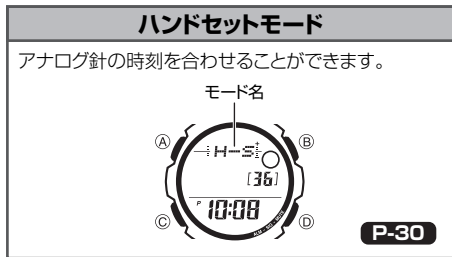
温度傾向グラフはメモリーされた温度から、「最新データ」を基準にして1時間ごとの傾向グラフとして表示します。



モード切替え

◎ ボタンを押すごとに以下の順でモードが切り替わります。
詳しくは各機能のページをご覧ください。

※ ストップウォッチモード、タイマーモード、ワールドタイムモード以外で2～3分間そのままにすると、自動的に時刻モードに戻ります。



温度リコールモード

メモリーした温度データを見ることができます。

モード名 — REC



P-17

ストップウォッチモード

1/100秒単位で99時間59分59秒99(100時間計)まで計測できます。

モード名



P-19

アラームモード

アラーム時刻のセット、時報のON/OFFができます。

モード名



P-23

タイマーモード

1分単位で100時間までセットできます。(減算計測は1秒単位)

モード名



P-20

操作音について

モード切替え時などに鳴る操作音の ON/OFF を切り替えることができます。

● 操作音の ON/OFF 設定

セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも

◎ ボタンを約 3 秒間押し続けます

→ 確認音が鳴り、操作音の ON/OFF が切り替わります。

※ 操作音を OFF にしているときは、MUTE マークが点灯します。

※ 操作音が OFF でも、アラーム音、時報音、タイマーのタイムアップ音は鳴ります。

※ ◎ ボタンを押したとき、モードも切り替わります。



ライト点灯について

本機の表示部には EL パネル（エレクトロルミネッセンスパネル）が内蔵されており、暗いときにライトを点灯させて時刻を見ることができます。

■ ライトを点灯させる

セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも

◎ ボタンを押します



<ご注意>

- 直射日光下ではライト点灯が見えにくくなります。
- ライト点灯中に操作音やアラームなどが鳴り出すと点灯を中断します。
- ライト点灯中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これは EL パネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

フィッシングレベル／ムーングラフの見方

「月の満ち欠け（ムーングラフ）と時角が魚の食餌活動に影響を与える」という理論に基づき、その時刻がどのくらい釣りに適しているかを魚マークの数（フィッシングレベル）で表示します。

※ 時角とは：月の見える方向は時角という角度で表され、頭上を時角0時として、頭上から90°西を6時、真下を12時、頭上から90°東を18時とします。月は平均して約24時間50分で1周して見えます。時角が0時、6時、12時、18時となる時刻が釣りに適していると言われています。

本機の表示するフィッシングレベル、ムーングラフは、場所により表示される形が異なります。ご使用前に12ページをご覧ください。あらかじめ使用する場所のデータ（時差・経度）をセットしてください。

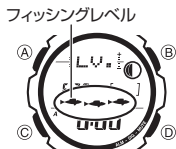
※工場出荷時は「使用場所＝東京（時差＋9.0、経度140°E）」にセットされています。

■ フィッシングレベルの見方

～（フィッシングの釣果）～

本機のフィッシングレベルは、以下のようにフィッシングの釣果目安を表わします。

レベル5	→→→→→	高い ↓ 低い
レベル4	→→→	
レベル3	→→	
レベル2	→	
レベル1		



- 現在のフィッシングレベルがレベル4か5のとき、時刻モードでFISHインジケーターが点滅します。

■ ムーングラフの見方

～（月の形）～

今日の正午時のムーングラフが表示されます。

※ムーングラフが示す月の形は、黒い部分が「月の影」、白い部分が「月の形＝見える形」です。（14ページ参照）

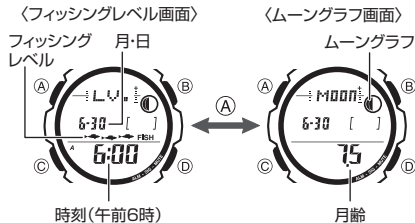


■ フィッシング／ムーンモードに切り替える

時刻モードのとき

◎ ボタンを1回押します

- ➡ フィッシング／ムーンモードに入り、フィッシングレベル画面またはムーングラフ画面が表示されます。
- ※ フィッシングレベル画面またはムーングラフ画面は前回見た方が最初に表示されます。
- ※ フィッシング／ムーンモードでは (A) ボタンを押すごとにフィッシングレベル画面とムーングラフ画面が切り替わります。



■ フィッシングレベルを見る (時間を変えて見る)

フィッシングレベル画面を表示しているときに

◎ ボタンを押します

- ➡ (D) ボタンを押すごとに1時間ずつ進みます。
- ※ 押し続けると早送りができます。



■ 月齢やムーングラフを見る (日にちを変えて見る)

ムーングラフ画面を表示しているときに

◎ ボタンを押します

- ➡ (D) ボタンを押すごとに1日ずつ進みます。
- ※ 押し続けると早送りができます。
- ※ 2000年1月1日～2099年12月31日までのサーチができます。



■日にちを指定してフィッシングレベル／ムーングラフを見る

1. セット状態に切り替える

フィッシング／ムーンモードのとき

Ⓐ ボタンを約1秒間押し続けます

→画面が切り替わった後、年が点滅します。

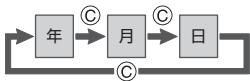


2. セット箇所を切り替える

Ⓒ ボタンを押します

→点滅箇所が以下の順で切り替わります。

※点滅箇所がセットできます。



3. 点滅箇所をセットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

→Ⓓ ボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに1つずつ戻ります。

※Ⓑ・Ⓓ ボタンとも押し続けると早送りができます。



手順2.～3.の操作を繰り返して、年・月・日をセットします。

※セットは2000年1月1日～2099年12月31日までできます。

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。



5. データを見たい画面を選ぶ

Ⓐ ボタンを押します

→フィッシングレベル画面とムーングラフ画面を切り替えます。

■ 使用場所のセット

使用場所のセットは、一度行なえば再びセットする必要はありません。ただし、引っ越しや旅行などで大きく移動したときは、その場所に合わせてセットしなおしてください。

※工場出荷時は「使用場所＝東京（時差＋9.0、経度140°E）」にセットされています。

1. セット状態にする

時刻モードのとき

A ボタンを約1秒間押し続けます

→秒が点滅します。



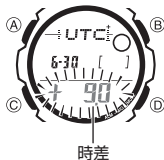
2. 時差のセットに切り替える

C ボタンを2回押します

→時差が点滅します。

※時差については26ページの「都市コード一覧」をご覧ください。

※UTC=Coordinated Universal Time (協定世界時)



3. 時差をセットする

D または **B** ボタンを押します

→Dボタンを押すごとに0.5時間ずつ進み、Bボタンを押すごとに0.5時間ずつ戻ります。

- ※B・Dボタンとも押し続けると早送りができます。
- ※時差は0.5時間単位で-12.0～+0.0～+14.0時間までセットできます。
- ※DSTのON/OFFにご注意ください。



4. 経度のセットに切り替える

A ボタンを押します

→経度値が点滅します。

※LON=Longitude (経度)

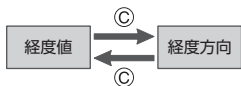


5. 経度値と経度方向を切り替える

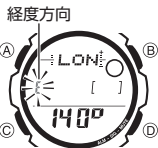
③ ボタンを押します

⇒ 点滅箇所が以下の順で切り替わります。

※ 点滅箇所がセットできません。



※ 経度をセットするときは、15 ページの「日本の経度」を参照してください。



6. 経度値と経度方向をセットする

④ または ② ボタンを押します



★ 経度値をセットするときは・・・

④ または ② ボタンを押します

⇒ ④ ボタンを押すごとに 1 度ずつ進み、② ボタンを押すごとに 1 度ずつ戻ります。

※ ②・④ ボタンとも押し続けると早送りができます。
※ 経度値は 1° 単位で 0 ~ 180° までセットできますので、1° 未満の端数は丸めて入力してください。
例) 50° 40' = 51°

★ 経度方向をセットするときは・・・

④ ボタンを押します

⇒ ④ ボタンを押すごとに E (東経) と W (西経) が切り替わります。

手順 5. ~ 6. の操作を繰り返して、経度をセットします。

7. セットを終わる

① ボタンを押します

⇒ 点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま 2 ~ 3 分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ 参考

● フィッシングレベルの表示のしかた

本機のフィッシングレベルは、月齢と月の位置によって表のように表されます。

月の位置 月齢	時角0時/12時	時角6時/18時	その他
新月・満月	レベル5	レベル4	レベル3
上弦・下弦	レベル4	レベル3	レベル2
その他	レベル3	レベル2	レベル1

- ※ 1ヶ月の月の動き（ムーングラフ、月齢）の中では、新月/満月のころが非常に良く釣れ、上弦/下弦のころが次いで良く釣れると言われています。
- ※ 1日の月の動き（時角）の中では、時角が0時/12時のころが非常に良く釣れ、時角が6時/18時のころが次いで良く釣れると言われています。
- ※ 新月/満月および時角0時/12時を最も良く釣れる条件とし、魚マークの数（4匹）で表現しています。
- ※ 季節や水温などの他の要因により大きく影響されますので、あくまで“目安”としてお使いください。

● 月齢表示の見方

月の形	新月		上弦		満月
月齢	0.0~1.8	1.9~5.5	5.6~9.2	9.3~12.9	13.0~16.6
表示					

月の形		下弦		新月
月齢	16.7~20.2	20.3~23.9	24.0~27.6	27.9~29.5
表示				

※ ムーングラフが示す月の形は、黒い部分が「月の影」で、白い部分が「月の形＝見える形」です。

※ 月の形は表示日の「正午」において、北半球を基準として月を南向きに見上げたときのおおよその形です。

※ 月の左右どちらが欠けているかのみを表現するものであり、実際に見える月の形とは異なります。なお、南半球や赤道付近で北寄りに月が見えるときは左右逆に見えます。

※ 月の形は、時刻・カレンダーおよび使用場所を正しくセットしておかないと正しく表示されませんのでご注意ください。



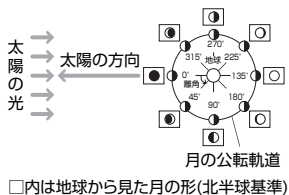
●月の満ち欠けと月齢

月は約 29.53 日の周期で満ち欠けを繰り返します。これは月の公転により地球と太陽に対する月の位置(月の離角)が少しずつずれることで、地球から見た月の影の見え方が変わるためです。

なお、月の満ち欠けや月相のことを天文用語では「月の盈虚(えいきょ)」といいます。

※ 月齢…新月(朔:さく)からの経過時間を日数で表わしたものの。

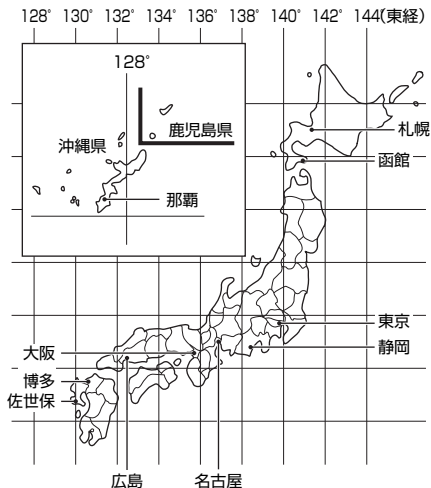
※ 月の離角…地球から見て太陽の見える方向からの角度



月の満ち欠け	月の離角	月齢
新月(朔:さく)	0°	0.0日
上弦	90°	約 7.4日
満月(望:ぼう)	180°	約 14.8日
下弦	270°	約 22.1日

※ なお、本機は月の平均朔望周期(29.53日)を利用した計算法で算出しているため、実際の月齢との誤差は±1日になることがあります。

●日本の経度



温度計測について

本機には温度センサーが内蔵されており、常時2分おきに時計内部の温度を計測し、時刻モードで現在温度を表示します。

また、計測した温度を時刻とともに50本記憶する温度メモリー機能もついています。

※ 17ページの「温度メモリー機能について」参照。

● 温度表示の見方

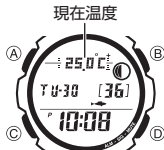
現在温度は時刻モードで表示されます。

表示単位：0.1℃

表示範囲：-10.0～60.0℃

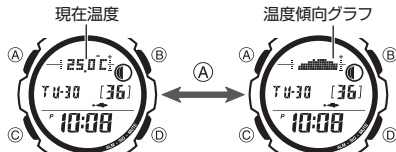
※ 範囲外は“---. -℃”表示

測定誤差精度：±2.0℃



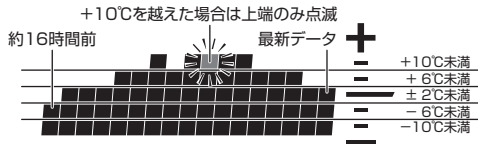
● 温度傾向グラフの見方

時刻モードで(A)ボタンを押すごとに、温度表示と温度傾向グラフ表示が切り替わります。



温度傾向グラフはメモリーされた温度から、「最新データ」を基準にして1時間ごとの傾向グラフ(17時間分)として表示します。

※ 計測エラーがあった場合は、5段の中心のみ点灯します。



■ 温度メモリー機能について

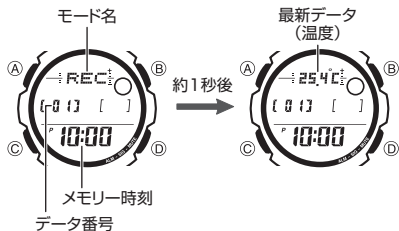
温度メモリー機能とは、時計が定期的に計測した温度データを 50 件記憶する機能です。

※ メモリーはどのモードのときでも、30 分ごと（00 分、30 分）に自動的に行なわれます。

● メモリーされた温度を見る

温度リコールモードに切り替えると、最新のメモリーデータ（データ番号 01）を表示します。

※ 温度リコールモードに切り替えるには、時刻モードのときに © ボタンを 2 回押します。

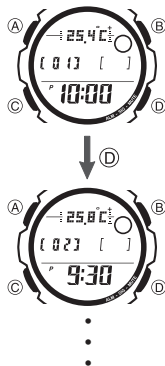


● 記憶された温度を見る

④ ボタンを押します

➡ ④ ボタンを押すごとに古いデータを表示します。

※ 押し続けると早送りができません。



★ メモリーの更新

メモリー件数は 50 までですので、時計が新しい温度データを計測すると、古いデータを自動的に消去し、新しいデータをデータ番号 1 番としてメモリーします。（後入れ優先）

■ 温度調整のしかた

本機は工場出荷時に温度調整してありますので、温度調整を行なう必要はありませんが、本機の表示する温度が、信頼できる正確な温度計と大きく異なるときは、以下の手順で温度調整を行なってください。

※ 本機を腕からはずし、30分以上放置して温度を安定させてから行なってください。

※ セット操作は速やかに行なってください。体温の影響により温度が変化することがあります。

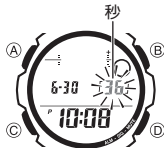
※ 温度が未調整の状態、 $-10 \sim 60^{\circ}\text{C}$ の環境にない場合は調整できません。

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐ ボタンを約1秒間押し続けます

→秒が点滅します。



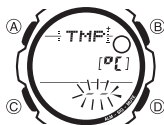
2. 温度調整に切り替える

Ⓒ ボタンを9回押します

→「—」または設定温度が点滅します。

※ 「—」は未調整の意味です。

※ TMP=Temperature (温度)



3. 温度をセットする

Ⓓ または **Ⓔ** ボタンを押します

→ **Ⓓ** ボタンを押すごとに 0.1°C ずつ進み、**Ⓔ** ボタンを押すごとに 0.1°C ずつ戻ります。

※ **Ⓔ**・**Ⓓ** ボタンとも押し続けると早送りができます。

※ 調整できる範囲は、表示している現在温度の $\pm 10.0^{\circ}\text{C}$ 以内となります。

※ **Ⓔ**・**Ⓓ** ボタンを同時に押すと、工場出荷時に調整してある基準温度（—表示）に戻ります。



4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを2回押します

→点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

ストップウォッチの使い方

6 ページの「モード切替え」にしたがい © ボタンを押し、ストップウォッチモードにします。

ストップウォッチは 1/100 秒単位で 99 時間 59 分 59 秒 99 (100 時間計) まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に 0 に戻って計測し続けます。

■ 計測のしかた

ストップウォッチモードのとき

① ボタンを押します

→ ① ボタンを押すごとに、計測がスタート/ストップします。



- 計測中に (A) ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります。(SPL マーク点灯)
- 計測終了後 (A) ボタンを押すと、計測値が 0 に戻ります。(リセット)

● 通常計測



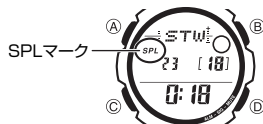
<積算計測>

ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずに ① ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

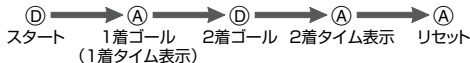
● スプリットタイム (途中経過時間) の計測



<スプリット表示中>



● 1・2 着同時計測



タイマーの使い方

6 ページの「モード切替え」にしたがい © ボタンを押し、タイマーモードにします。

タイマー時間は分単位で 100 時間までセットすることができ、セットした時間を経過（タイムアップ）すると、10 秒間電子音が鳴ります。

■ タイマー方法について

本機のタイマーは以下の 2 種類があり、使い方に合わせてお好きな方を選ぶことができます。

● リピートタイマー（繰り返し計測）

タイムアップすると、タイマー時間を表示して、計測が止まります。同じ時間を何回も計測するときに便利です。

● オートリピートタイマー（自動繰り返し計測）

タイムアップしても、計測ストップするまで自動的にタイマー時間に戻り、繰り返し計測を行ないます。

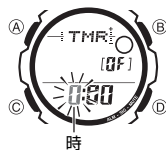
■ タイマー時間のセット

1. セット状態にする

タイマーモード（計測リセット状態）のとき

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押し
続けます

⇒ 「時」が点滅します。

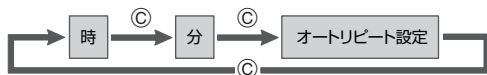
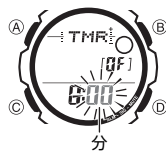


2. セット箇所を選ぶ

© ボタンを押します

⇒ © ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で切り替わります。

※ 点滅箇所がセットできます。



3. 点滅箇所のセット

① または ② ボタンを押します

→ ① ボタンを押すごとに1つずつ進み、② ボタンを押すごとに1つずつ戻ります。

※ ②・① ボタンとも押し続けると早送りができます。



4. セットを終わる

③ ボタンを押します

→ 点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

オートリピートマーク



手順2.～3.の操作を繰り返して、時・分およびオートリピート設定をセットします。

※ セット時間を100時間に設定するときは、表示を“0:00”にします。

※ オートリピート設定は ④ ボタンを押すごとにリピート (OF) とオートリピート (On) が切り替わります。オートリピートを設定したときは、タイマーモードで “ON” が点灯します。

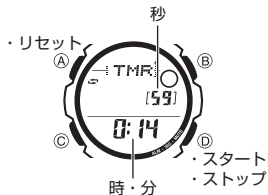
■ タイマーの使い方

タイマーモードのとき

④ ボタンを押します

⇒ ④ ボタンを押すごとに、計測がスタート/ストップします。

※ 計測は 1 秒単位で行ないます。



- 計測ストップ後 ① ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります。(リセット)
- ロスタイムがあるときは、④ ボタンでストップ後、もう一度 ④ ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

★タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10 秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

★鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

アラーム・時報の使い方

6 ページの「モード切替え」にしたがい © ボタンを押し、アラームモードにします。

アラームモードでは、時分を設定でき、設定した時刻になると 10 秒間電子音が鳴ります。
また、毎正時 (00 分) に時報を鳴らすこともできます。

■ アラーム時刻のセット

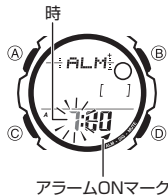
1. セット状態にする

アラームモードのとき

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押し続けます

→ 「時」が点滅します。

※ アラーム ON マークが点灯し、自動的にアラーム ON になります。



2. セット箇所を選ぶ

© ボタンを押します

→ © ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」と「分」を移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



3. 点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

→ Ⓓ ボタンを押すごとに 1 つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに 1 つずつ戻ります。

※ Ⓑ・Ⓓ ボタンとも押し続けると早送りができます。



手順 2. ~ 3. の操作を繰り返して、時・分をセットします。

※ 「時」のセットのとき午前 (A) / 午後 (P)、または 24 時間制にご注意ください。

※ 時刻モードの現在時刻を 24 時間制表示にしているときは、アラーム時刻も 24 時間制表示になります。

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

★モニターアラーム

アラームモードで Ⓓ ボタンを押し続けると、押している間アラーム音が鳴ります。

★鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

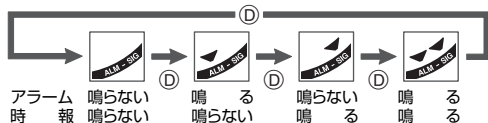
■ アラーム・時報の ON/OFF 設定

アラームモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

⇒Ⓓ ボタンを押すごとに、以下のようにアラーム ON マークと時報 ON マークが点灯/消灯を繰り返します。

※それぞれのマークが点灯しているときが ON となり、アラーム・時報が鳴ります。



ワールドタイムの使い方

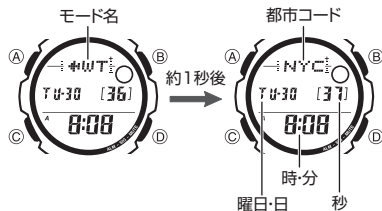
6 ページの「モード切替え」にしたがい © ボタンを押し、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界 50 都市 (30 タイムゾーン) の時・分・秒、月・日・曜日を簡単に知ることができます。

※ ワールドタイムモードに切り替えると、前回このモードで最後に見た都市の時刻を表示します。

※ ワールドタイムの「秒」は時刻モードの現在時刻の「秒」に連動しています。

※ 時刻モードの現在時刻を 24 時間制にしているときは、ワールドタイムも 24 時間制で表示されます。



【ご注意】

ワールドタイムが合っていないときは、時刻モードの時刻および時差を確認し、違っているときは正しくセットしてください。

※ セットについては 27 ページ参照。

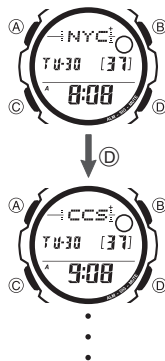
■ 都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき

④ ボタンを押します

→ ④ ボタンを押すごとに都市コードが東回りで進みます。

※ 押し続けると早送りができます。



■ サマータイムの ON/OFF 設定

ワールドタイムモードのとき

① ボタンを約 1 秒間押し続けます

→ ① ボタンを約 1 秒間押し続けるごとにサマータイムの ON/OFF が切り替わります。

※ サマータイムが ON のときは、ワールドタイムモードで DST マークが点灯して、通常の時刻より 1 時間進みます。



DSTマーク

サマータイムを ON にすると、ワールドタイムモードの全ての都市がサマータイム ON となります。

★サマータイム (DST) について

サマータイムとは DST (Daylight Saving Time) とも言い、通常の時刻から 1 時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■ 都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
PPG	-11	パゴパゴ	CAI	+2	カイロ
HNL	-10	ホノルル	JRS	+2	エルサレム
ANC	-9	アンカレジ	MOW	+3	モスクワ
YVR	-8	バンクーバー	JED	+3	ジェッダ
SFO	-8	サンフランシスコ	THR	+3.5	テヘラン
LAX	-8	ロサンゼルス	DXB	+4	ドバイ
DEN	-7	デンバー	KBL	+4.5	カブール
MEX	-6	メキシコシティ	KHI	+5	カラチ
CHI	-6	シカゴ	MLE	+5	マレー
MIA	-5	マイアミ	DEL	+5.5	デリー
NYC	-5	ニューヨーク	DAC	+6	ダッカ
CCS*	-4	カラカス	RGN	+6.5	ヤンゴン
YYT	-3.5	セントジョンズ	BKK	+7	バンコク
RIO	-3	リオデジャネイロ	SIN	+8	シンガポール
RAI	-1	ブライア	JKT	+7	ジャカルタ
LIS	0	リスボン	HKG	+8	香港
LON	0	ロンドン	BJS	+8	北京
BCN	+1	バルセロナ	SEL	+9	ソウル
PAR	+1	パリ	TYO	+9	東京
MIL	+1	ミラノ	ADL	+9.5	アデレード
ROM	+1	ローマ	GUM	+10	グアム
BER	+1	ベルリン	SYD	+10	シドニー
ATH	+2	アテネ	NOU	+11	ヌーメア
JNB	+2	ヨハネスブルグ	WLG	+12	ウェリントン
IST	+2	イスタンブール	TBU	+13	ヌクアロファ

※ この表は 2008 年 12 月現在作成のものです。

※ この表の時差は協定世界時 (UTC) を基準としたものです。

※ 2007 年 12 月に CCS (カラカス) の時差が「-4.5」に変更になっていますが、本機では対応しておりません。「時差-4の地域」としてご使用ください。

時計・カレンダーの合わせ方

以下の操作は、時刻モードで行ないます。

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

※ デジタル部の時刻を修正したときは、必ずアナログ部も修正してください。

■ デジタル部の合わせ方

● 秒合わせ

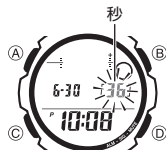
月に1度くらいこの「秒合わせ」をしていただくと、時計はいつも正確です。

1. セット状態にする

時刻モードのとき

(A) ボタンを約1秒間押し続けます

⇒「秒」が点滅します。



2. 秒を合わせる

(D) ボタンを押します

⇒「00秒」からスタートします。

※ 秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります（時報は「時報サービス117番」が便利です）。



3. セットを終わる

(A) ボタンを2回押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

●時刻・カレンダーの合わせ方

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押し
続けます

→「秒」が点滅します。

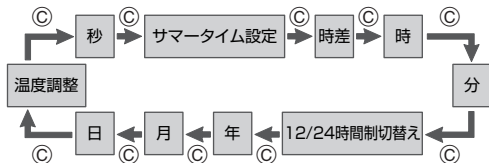


2. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

→Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で切り替わります。

※点滅箇所がセットできます。



3. 点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓔ ボタンを押します

→Ⓓ ボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓔ ボタンを押すごとに1つずつ戻ります。

※ Ⓑ・Ⓓ ボタンとも押し続けると早送りができます。



手順2. ~ 3. の操作を繰り返して、サマータイム設定および時刻・カレンダーをセットします。

※「時」のセットのとき午前 (A) / 午後 (P)、または24時間制にご注意ください。

※「年」は2000 ~ 2099年の範囲内でセットでき、年・月・日をセットすると、自動的に曜日が算出されます。

※カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

※サマータイム設定は、Ⓓ ボタンを押すごとにOn (オン) とOF (オフ) が切り替わります。ONのときは時刻モード、フィッシングレベル画面、アラームモード、ハンドセットモードでDSTマークが点灯します。

※12/24時間制切替えは、Ⓓ ボタンを押すごとに12H (12時間制) と24H (24時間制) が切り替わります。

※時差については26ページを、温度調整については18ページをご覧ください。

4. セットを終わる

A ボタンを2回押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

★サマータイム (DST) について

サマータイムとは DST (Daylight Saving Time) とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■ アナログ（針）部の合わせ方

アナログ部とデジタル部の時刻が合っていないときは、以下の操作で合わせてください。

※ 6 ページの「モード切替え」にしたがい © ボタンを押し、ハンドセット（針合わせ）モードにします。

1. セット状態にする

ハンドセットモードのとき

**Ⓐ ボタンを約 1 秒間押し
続けます**

→ 現在時刻が点滅して、アナログ針のセット状態になります。



2. アナログ部を合わせる

Ⓓ ボタンを押します

→ Ⓓ ボタンを押すごとに時計回りに 1/3 分 (20 秒) ずつ進みますので、デジタル部の「時・分」丁度にあナログ針を合わせます。

※ 押し続けると早く進みます（針は逆方向には進みません）。



3. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

→ 点滅が止まり、分針はそのときの「秒」に合わせて自動的に修正されます。

※ 点滅表示のまま 2～3 分間すると、自動的に点滅が止まります。

※ 操作のタイミングにより、針が少し遅れることがあります。このようなときは、もう一度セット状態にしてから針を 1 ステップか 2 ステップ進めてください。

★ 針の自動早送り

Ⓓ ボタンを押し続けている間、Ⓑ ボタンを押すと、ボタンを離しても針が自動的に早く進みます。

※ いずれかのボタンを押すと針が止まります。

※ 時計が一回りすると早送りが止まります。

※ アラームなどが鳴り出すと針が止まります。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz

精度：平均月差± 30 秒以内

基本機能：アナログ部
時・分 (20 秒運針) 2 針

デジタル部
時・分・秒、午前 (A) / 午後 (P) /
24 時間制表示、日・曜日

※フルオートカレンダー
(2000 ~ 2099 年)
現在温度 / 温度傾向グラフ表示切替え

温度計測機能：表示範囲 = - 10.0 ~ 60.0℃

表示単位 = 0.1℃
測定誤差精度 = ± 2℃以内
常時温度計測 (2 分毎)、温度メモリー機能
(50 本)、温度メモリーリコール機能、温度
調整機能 (± 10.0℃)

フィッシング / ムーングラフ機能：フィッシングレベル、ムーングラフ、月齢、
時刻・日サーチ機能

ストップウォッチ機能：計測単位 = 1/100 秒
計測範囲 = 99 時間 59 分 59 秒 99
(100 時間計)

計測機能 = 通常計測、積算計測、
スプリット計測、
1・2 着同時計測

アラーム機能：時刻アラーム

セット単位 = 時・分
電子音 = 10 秒間
時報 毎正時に 2 回電子音で報知

タイマー機能：セット単位 = 1 分

計測単位 = 1 秒
計測範囲 = 100 時間
リピートタイマー / オートリピートタイ
マー切替え

ワールドタイム機能：世界 50 都市 (30 タイムゾーン) の時刻を
表示

その他：自動復帰機能、サマータイム設定機能、
モニターアラーム、12/24 時間制表示
切替え、操作確認音 ON/OFF 切替え、
EL バックライト、時差・経度セット機能

主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子、
ワンチップ CMOS-LSI

使用電池：SR927W 2 個 (電池別途販売)

電池寿命：約 2 年

(1 日当たり、電子音を 10 秒間、ライト
を 1.5 秒、温度計測を 2 分ごとに使用
した場合)



memo

ご使用上のご注意

■ 防水性

- 防水時計は時計の表面または裏蓋に「WATER RESIST」「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

	表示	時計の表面または裏蓋に表記	日常生活用防水 「BAR」表記無し	日常生活用強化防水		
				5気圧防水	10気圧防水	20気圧防水
使用例			5BAR	10BAR	20BAR	
	洗顔、雨	○	○	○	○	
	水仕事、水泳	×	○	○	○	
	ウインドサーフィン	×	×	○	○	
	スキューバダイビング(素潜り)	×	×	○	○	

- ※ 専門的な潜水=スキューバダイビング(空気ボンベ使用)でのご使用はお避けください。
- 時計の表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも水中や、水分のついたまま、りゅうずやボタンの操作をしないでください。
- 防水構造の機種でも、時計をつけたままの入浴、洗剤等(石鹸・シャンプーなど)のご使用をお避けください。防水性能を低下させる原因となります。
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
- 防水性を保つために定期的(2～3年を目安)なバッキン交換をおすすめします。

- 電池交換の際、防水試験を行ないますので、必ずお買い上げの販売店あるいは最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にお申し付けください(特殊な工具を必要とします)。
- 防水時計の一部にデザイン上、皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態でも、水仕事・水泳など直接水がかかるご使用はお避けください。
- 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。曇りが消えなかったり、水が時計内部に浸入した場合は、そのままご使用にならず、ただちに修理することが必要です。
- 時計内部に浸入した水は、電子部品や機械、文字板などを破損する原因となります。

■ バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドは劣化やさび(錆)などにより切れたり外れたりする場合があります、時計の落下や紛失の原因となります。バンドは、常にお手入れしていただき、清潔にご使用ください。バンドに弾力性がなくなったり、ひび割れ・変色・緩みなどがある場合は、お早めに点検・修理(有償)または新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にご来店ください。

■ 温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。

- + 60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や+ 40℃以上では、表示が見えにくくなることがあります。

■ ショック

- 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/Baby-G/G-ms）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■ 磁気

- アナログ時計やコンペネーション（アナログとデジタル）時計は、針を動かすために磁石の性質を利用したモーターを駆動させる方式を採用していますが、このモーターは強い磁気（オーディオ機器のスピーカー、磁気ネックレス、携帯電話など）を発生する器具に近づけるとモーターの回転に影響を受け、針の「遅れ・進み・止まり・誤った時刻表示」などの原因となります。

■ 静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
- 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

■ 薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■ 保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■ 樹脂製品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂製品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくとも色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
- スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- 樹脂部品の交換は、最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にお申し付けください。有償にて申し受けます。

■ 天然皮革・合成皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が天然皮革や合成皮革に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたまにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
ご注意：天然皮革・合成皮革は、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■ 金属製品について

- 金属を使用した製品・バンドは、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さび（錆）が発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などで良く拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、良く乾燥させてください。
- バンドは、時々、柔らかい歯ブラシなどにより、中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水でバンドを洗って、良く手入れをしてください。このとき、時計の本体にかからないようご注意ください。

■ 抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■ 液晶表示について

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなる場合があります。

■ データ保護について

- 電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。なお、大切なデータはノートなどに控えをとっておいてください。

■ センサーについて

- 本機のセンサーは精密機器ですので、絶対に分解しないでください。また、センサー部を細い棒などでついたり、ゴミ・ほこりなどが入らないようご注意ください。なお、海水に浸したときは、必ず真水で洗い流してください。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■ お手入れのしかた

- ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚したり、皮膚がかぶれたり時計の性能が劣化することがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとしび易くなります。
- 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また布等で簡単にふきとることができます。
- 皮革バンドは乾いた布で軽く拭くなどして常に清潔にしてご使用ください。樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。
- バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にご来店をお申し付けください。保証期間内であっても有償にて申し受けます。
- 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

■ お手入れを怠ると

〈さび（錆）〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
※ 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

- 電池交換は必ずお買い上げの販売店または最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行ないます（防水検査は別途有償となります）。

■ 最初の電池

- お買い上げの時計に組み込まれている電池（モニター用電池）は、工場出荷時点で時計の機能や性能をチェックするために組み込まれたものです。
- お客様がお買い上げになるまでの期間に電池は消耗しますので、モニター用電池は取扱説明書などに記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

■ 電池の消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンドの駒詰めには専用の工具が必要となります。お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはケガ等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。なお、カシオテクノ・サービスステーションにおいても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。詳しくは、最寄りのカシオテクノ・サービスステーションまたはカシオテクノ修理相談窓口へお問い合わせください。